

令和 3 年度野生鳥獣被害に係る集落アンケートの結果について

1 調査の概要

県内における野生鳥獣被害に係る「住民の実感」を把握するため、農業被害の程度や実施した対策等について本県独自のアンケートを実施。

【調査期間】 令和 3 年 1 1 月～令和 4 年 1 月（対象期間：令和 3 年 1～1 2 月）
【調査数】 3 6 6 集落

2 主な状況 ※（ ）は令和 2 年度

（1）農業被害の程度（「深刻」「大きい」の割合）

- イノシシ：47% （31%）
- ニホンザル：34% （26%）
- ニホンジカ：32% （26%）

※被害程度を「深刻」「大きい」「軽微」「ない」の 4 段階で回答

（2）その他の被害

- イノシシ
 - ・家庭菜園の被害「あり」：53% （39%）
 - ・畦や石垣の被害「深刻」「大きい」：34% （23%）
- ニホンザル
 - ・家庭菜園の被害「あり」：46% （39%）
 - ・人への威嚇「あり」：11% （9%）
- ニホンジカ
 - ・家庭菜園の被害「あり」：39% （31%）
 - ・樹皮の被害「深刻」「大きい」：21% （15%）

※「家庭菜園被害」「人への威嚇」は「あり」「なし」で、「畦や石垣」「樹皮」の被害は「深刻」「大きい」「軽微」「ない」で回答

（3）実施した対策（「効果あり」の割合）

- 防護柵
 - イノシシ：58% （64%）
 - ニホンザル：30% （28%）
 - ニホンジカ：62% （65%）
- 捕獲
 - イノシシ：58% （41%）
 - ニホンザル：45% （21%）
 - ニホンジカ：63% （60%）

※「効果あり」「効果なし」「不明」で回答

3 今後の方針

獣種ごとに定めた「適正管理計画（令和 4～8 年度）」に基づき、市町村と連携のもと、地域に応じた効果的な「侵入防止柵の導入」や「IoT機器を活用した捕獲」など、集落ぐるみの被害防止活動をより一層強化する。